

新春を迎えて

下川町長 谷 一之



町民の皆様、新年あけましておめでとーうございませす。

令和3年の輝かしい新春を皆様とともに迎えられることを心からお喜び申し上げます。

昨年は、国内外において、新型コロナウイルス感染症が発生したことにより、北海道から、2月28日に緊急事態宣言が発せられ、外出自粛、施設の使用制限、イベントなどの開催中止や延期に始まり、あら

ゆる場面において、マスク着用、手洗い、うがい、3密の回避など、感染防止対策の徹底などを周知してきたところでありましたが、町民の皆さんには、これらの対応策にご理解頂き、これまで、真摯な行動を取るなどのご協力を賜ってきたところでありませす。

しかしながら、町内の生活や経済活動においては、大きな影響が出ているところであり、いち早く、住民生活支援として、町民の皆様への特別定額給付金をお届けしたほか、感染拡大防止、住民生活や地域経済への支援、さらに、社会活動支援や地域経済回復等として、マスクの配布、子育て世帯への臨時特別給付

金、飲食店応援、町独自の持続化給付金、「スーパープレミアム商品券」など、様々な対策を進めて参りましたが、未だ、収束が見えない中で、依然として厳しい状況が続くものと予想され、今後も、気を緩めることなく、感染予防の対応策や住民の皆さんへの支援を図って参る所存でございます。昨年の世相を表す漢字に「密」が選ばれましたが、これは、新型コロナウイルス感染症において、「3密」という言葉が浸透したように、人との「距離感」を意識する一年を象徴していたのではないかと思

います。その一方で、家族や友人などと、「心の距離」は

「密」になったという人が多かったのではないでしようか。

さて、今年の干支である「丑年」は、「我慢」や「発展の前振れ」を表す年になると言われております。従って、子年の繁栄を土台として、牛歩ではありますが、一歩一歩着実に物事を進めることにより、新しい年が皆様にとりまして、ご家族ともども、ご健勝で幸多き年となるようお祈り申し上げます。町民の心を一つにして、この難局を乗り越えてまいりませす！

